

経済効率などに難点

大野台 特定 開発に反対決議

農林省は、昨年七月、特定農地開発地域として大野台を指定し、約四千二百町歩を国営によって開墾（機械開墾）をする計画をもつて仙台農地事務局が基礎調査を進めて来たのであるが、過般その調査中間報告会を開いたこの中間報告に基いて大野台特定農地開発調査協議会が水田経済効率や水利施設、水利権などあらゆる角度から検討していたが、このほど次のような結論のもとに開発に反対の立場をとることにになり、五月六日から仙台農地事務局、農林省など関係官庁へ陳情した。

陳情書

主文「大野台特定農地開発事業基礎調査を檢討の結果、地域住民の利益擁護の立場から反対するものとす」

理由、大野台特定農地開発計画に對して本協議会が種々検討をした結果、左記の理由により反対することに決議したので、地元関係農民の利益擁護のため、この反対陳情を容認下さるよう御願ひ申し上げます。

尚大野台の今後に關しては、その高度利用に關して既に部落単位に計画をたてて近々総合的な町の計画として既存農家の零細経営からの解放を進めておられます。

で御諒知下さるよう御願ひ申し上げます。

一、計画による収量は水田の経済効率からみて採算が成り立たず、尚且つ施設水利費等必要経費が水田経営の常識を超えるものである。

二、土地改良事業となる工事が多く、既存農家の負担能力に耐えられないものである。

三、既存農家の水利権の確保に對する不安が多く、関係水利組合は全部反対である。殊に調査による阿仁川の水量は過去の資料に基いてはいるが、現在及び将来の上流森林経営部でも期待をもち、本年四月少年消防クラブ活動としてこの調査結果でもう一度お宅の周囲を点検してみま

将来の見通しからみると不完全な資料による水量が出されている。

四、既存農家の薪炭林、採草地が確保出来ないの、結局は農家経営が成立した後の昭和三十四年春季赤

全県赤ちゃんコンテスト

合川町代表三名出場

秋田県と秋田魁新報社共催の昭和三十四年春季赤ちゃんコンテストは、既に第一回（町村）、第二回（保健所）審査が終了、いよいよ最終審査をまづばかりとなりです。

これでよい!! 火の始末

南小中学校の火災予防調査から

南小中学校防衛団（少年消防クラブ）では火災予防活動に大きな成果をあげて、われわれが日常の取扱っている火や電気などその方法が安全でしようか。この調査結果でもう一度お宅の周囲を点検してみま

△火災予防調査結果

▽ストーブ

①台の材料はコンクリートに木の台（ゴイロ）

②たき口に火とりが

▽電気

①電線は屋根にふれていない24、いん24

②アイロンの置場が決つていない22、いん22

③去年検電をやつたか

④やつた24、やらない27

▽残火の処理

あれから1ヵ月

村形さんの現地だより

三月、雪の光のメロデーに送られながら、楽しかった学窓をあとに進学や家業にまた、わが家を遠くはなれて就職して行つた。学校生活のこれまでとは打つて変わった実生活。然も遠く県外へ就職した人達はどうしていることでしょうか!!

しかし当町から就職した人達は皆んな元気で一生懸命に働いて、運動会やバレー大会等がある。

卒業生、静岡県明和紡績へ就職した村形あみさん、当町の担任であった細田先生へ元気な現地の便りが寄せられたので紹介しよう。

（以下村形あみの手紙）

二、三男の自立 対策に思うこと

工藤千代松

農家のあと継ぎをしない結果によると、県内の二、三男のかたがた、それ満十五歳から四十歳までのそれぞれ自立して、しあわせに農村二、三男の総数は十三万で、このうち自立したものは、どうしたらよいのかというのを教えられる者が三男対策の重要なことについて、世上論議がつくされては、世に説明果になつておられます。

この問題について私が常日頃感じていることを述べてみたいと思います。

先ず二、三男のかたがたが希望している自立の方向ですが、昨年五月県で調査

たない。

五、予定地は公有地が少なく、細分化された個人所有であるため、既に農家経営の内容に含まれて経営の計画を破壊するものである。

六、以上の理由によつて土地の取得は比較的大経営農家のみならず、零細農家の分も極めて困難であり、次官通達にある円満なる取得は不可能である。

やんの保健コンテストは、既に第一回（町村）、第二回（保健所）審査が終了、いよいよ最終審査をまづばかりとなりです。

当町では七十三名の赤ちゃん、以上の理由によつて土地の取得は比較的大経営農家のみならず、零細農家の分も極めて困難であり、次官通達にある円満なる取得は不可能である。

ある15、ない104

③台の下にこみが

④台の下にこみが

⑤台の下にこみが

⑥台の下にこみが

⑦台の下にこみが

⑧台の下にこみが

⑨台の下にこみが

⑩台の下にこみが

⑪台の下にこみが

⑫台の下にこみが

⑬台の下にこみが

⑭台の下にこみが

⑮台の下にこみが

⑯台の下にこみが

⑰台の下にこみが

⑱台の下にこみが

⑲台の下にこみが

⑳台の下にこみが

㉑台の下にこみが

㉒台の下にこみが

㉓台の下にこみが

㉔台の下にこみが

㉕台の下にこみが

㉖台の下にこみが

㉗台の下にこみが

㉘台の下にこみが

㉙台の下にこみが

㉚台の下にこみが

㉛台の下にこみが

㉜台の下にこみが

㉝台の下にこみが

㉞台の下にこみが

㉟台の下にこみが

㊱台の下にこみが

㊲台の下にこみが

㊳台の下にこみが

㊴台の下にこみが

㊵台の下にこみが

㊶台の下にこみが

㊷台の下にこみが

㊸台の下にこみが

㊹台の下にこみが

㊺台の下にこみが

㊻台の下にこみが

㊼台の下にこみが

㊽台の下にこみが

㊾台の下にこみが

㊿台の下にこみが

あとがき

地方選挙が終つたと思つたら、今度はまた参議院選挙と、このところ選挙ははらばらしい。こんどは参議院選挙は、低調だろと取沙汰されているが、正しい政治に期待する意味において、選挙ははたかたしないものである。

